

心理学・教育学委員会排除・包摂と教育分科会（第25期・第1回）議事要旨

1. 会議名 排除・包摂と教育分科会（心理学・教育学分科会 第25期・第1回）
2. 日時 2021年3月28日（日）10時00分～11時45分
3. 会場 オンライン会議
4. 出席者 岡部美香、松下佳代、吉田文、勝野正章、小玉重夫、志水宏吉、中坪史典、西岡加名恵、浅井幸子、北村友人、近藤孝弘、恒吉僚子、坂井俊樹
5. 記録 勝野正章

6. 議事

議事に先立ち、世話人の岡部委員からの挨拶と出席者による自己紹介が行われた。

(1) 役員を選出

委員の互選により、以下のとおり役員が選出された。

委員長 岡部美香
副委員長 小玉重夫
幹事 勝野正章

(2) 分科会の進め方

24期までの活動と成果を踏まえて、25期は国際的な議論・動向を参照しつつ、排除と包摂に関わる日本の課題と日本が世界的に貢献できることを明らかにし、国際的な発信をしていくこととした。同時に国内においては、国、地方の行政や学校が実際に改革を進められるよう連携を図るとともに、発信の仕方を工夫していくこととした。

(3) 分科会の今後のスケジュール

次のようなスケジュールが承認された。ただし、これは今期中に提言を出すことを前提としたものである。

22年1月までに提言の大体の方針を固める。

23年1月までに提言の原案をまとめ、学術会議内外から意見・フィードバックを求める。

23年の夏 提言。

(4) その他

河野銀子委員から、第一部会総合ジェンダー分科会での活動が多忙になることもあり、本分科会の委員を辞退したい旨申し出があり、承認された。その結果、今期の分科会の現員数は15名となる。